

# “您”に関わることがら

内 田 慶 市

# “您”に関わることがら

内 田 慶 市

## 0. は じ め に

この10年余りずっと気にかかってきたことがある。

一つは、確かな日時は覚えていないが、恐らく近世語研究会（現在の近世語学会）で行われた、上海大学の錢乃榮氏による「吳語の人称代名詞の二層性」というタイトルの講演内容である。

二つ目は、『華語拼字妙法』という一冊の本の中の一個所の記載である。

三つ目は、これも近世語研究会（1992. 5. 31, 於関西大学）での尾崎實氏による「您にかかわるいろいろなことがら」というご発表の中での奇妙な文字表記である。

本稿ではこの三つの気になってきたことと“您”との関係について少し考えてみることにする。

二人称代名詞尊称の“您”の来源については、これまでに多くの論考があるが、日下恒夫1977の記述に従って以下の三説にまとめることができると思われる。

A：你老人家>你老>你納>您

B：複数起源説（すなわち清代以前の二人称複数代名詞“您”と清代以降現代までの二人称尊称“您”は連続するもの）

C：“你能”“你儂”“儂”>“您”（変音）

AとCは近世語の“您”と現代語の“您”には断絶があるという点で共通している。日下氏の立場は基本的にはCの説に立ちながら、併せてAとBも認め

るというものであるが、私も結論的にはそれに近い。ただ、今回そこに上記の「気になる」三点と欧米人の文献を若干加えて考えてみるということである。

## 1. 錢氏の講演内容—呉語の人称代名詞における二層性

錢氏の講演の中で私が興味をもったのは次の点である（錢氏がその後これを論文の形で発表されたか否かは不明）。

すなわち、呉語の人称代名詞には各人称ともに二つの系統があって、そのうちの一つは二音節の系統であるというものである。

たとえば、一人称単数は [ŋ-] 類のものと [ŋn-] 類のものがあり、二人称にも [ni] と [ŋn-] 類があるという。後者がそれぞれ二音節であるが、第一音節は母音化された鼻音である。ただこの二音節は漢字で表記される場合、前の音節だけを表記する場合と、後ろの音節を表記する場合があります。一人称の場合、前者の時は「吾」「五」であり、後者は「奴、若、儂」となる。もちろん両方を表記したものもあり、明代の馮夢龍の『山歌』にもえる「我儂」はそれである。二人称でも同様に両方表記したものが『上海地區民清縣志』に見える「你儂 [ŋnɔŋ]」である。これは現在は単に [nɔŋ] とするという。いずれにせよ、第二類つまり二音節のものは呉語の比較的古い形である。

錢氏の言われる「語頭の二音節」というのは、いわゆる「語頭の複子音」と言い換えていように思うが、元来、複子音を持つ語が二つの漢字で表記されることは次のようなことから明かである。

上古時代の中国語には複子音が存在した。その後、漢字の影響によって、ある複子音は2つの子音に分裂しそれぞれひとつの音節形式となって2つの漢字で表されるようになった。たとえば、「角」と「角落」は元は一つの単語であり、本来の声母は複子音 [kl] であった。この [l] が脱落して「角」となり、[k] が脱落すると「落」になる。2つの音節に分かれれば「角落」となる。この「角落」の2つの声母は [k] と [l] と異なるが、韻母は同じであり、たとえば蘇州語では [ko?lo?] である。「路」「賂」と「格」「駱」も同様である。これらは古くはいずれも [kl] である（『現代漢語』錢乃榮主

“您”に関わることがら (内田)

編, 高等教育出版社, 1990.4, 5p)。

「窟窿」と「孔」の関係も同じものであろう。

なお、錢氏は人称代名詞の複数形についても面白いことを述べている。一つは単数形の後ろに語素を加えるもの。もう一つは韻母の形態変化によって表すものである。前者は北方語の“你們”の類であるが、後者は特に杭州湾の南北の広い地域にみれるもので、たとえば奉賢では“我若”が“我那”に、“實儂”が“實那”なる。上海語の“儂”が“那”になるのも同じという。

## 2. 『華語拼字妙法』における“您”のローマ字表記

『華語拼字妙法』(Bryan, Shanghai Methodist Publishing House, 1913)の記載とは次のものである。

你<sup>3</sup>, 您<sup>2</sup>, ning, respectful term for 你. (21p)

本書は以前にその音系について取り上げたことがあり(内田1991)、基本的には五声体系の「南京官話」の音系であるというのが私の結論であるが、この[ning]は一体何を意味するかである。南京官話や呉語地区では[n]と[ng]を区別しないことは明かであるが、この[ning]もその理由で解決できるかということである。なぜなら、[n]と[ng]の混同はこの[ning]だけに見えて、他の語には全くないからである。もちろん、これが「単なる誤植」とも考えられる。しかし、目立った誤植はこの本には他には見られないのである。やはり、[ning]という音節が存在したと考える方が自然である。

実はこれまでに“您”の音価として「ning」の存在の可能性について触れた方が一人だけおられる。それは先の日下氏であるが、氏は『光緒順天府志』(1886)、『清碑類鈔』(1917)、『北平風俗類微』(1937)を援用しながら以下のように述べておられた。

尊称の二人称代名詞に「ning」のような音節が、少なくとも清末の北京語には存在したと予想してもいいのではないだろうか(8p)。

要するに、北京語では少なくとも清末においては、二人称の尊称代名詞として「ning」の如き音節をもつ語が、口語層において使用されていたものとかんがえるのが自然である (9p)。

日下氏の引く文献での例証は最のものである。

你老二字急呼之則聲近傳，故順天人相稱，加敬則日傳，否則曰你，（光緒順天府志）

京都人所用者。。。您音近凝，義似爾汝，施之於較己爲尊者也（清碑類鈔）

京兆方言特別字。。。您讀若凝，實南方“你老人家”四字之省文也（北平風俗類徵）

これらの例と『華語拼音妙法』における音注を考え併せてみると、清末あるいは1900年代の初めまで [ning] という音価が確かに存在したことが言えそうである。

なお、日下氏は更に『舊京瑣記』を引いて、[lin] という音の可能性も指摘された。

然遇尊長，則必曰您，讀如隣，非是則不敬

この [lin] の音は、Premare (1847)<sup>1)</sup>でも以下のように示されている。

There are wo 我 I, ni 你 (or very rarely lin 您) thou, t'a 他 he (31p).

もちろん、ここの“您”が尊称か、あるいは複数形かは俄には判断しかねるところではある。ただ、この記述の前に、

Mun “們” and tang 等 also denote plural: e. g. ta mun 他們 they; ye mun 爺們 my lords; ni tang 你等 ye or you. We also find mei 每; as wo mei 我每 we (30p).

### “您”に関わることから（内田）

ということがあって、この該当部分になり、また“您”が「我、你、他」と並べて述べられているところから「尊称」と考えられる。とすれば、“您”の登場はこれまで考えられてきたよりも早まる（すなわち、この Premare の言語が反映している1720年代頃）ことになるが、今は意見を保留しておく。

### 3. 二人称尊称の文献での現れ方

二人称尊称の各種文献での現れ方は、尾崎1992によれば以下のようである。

『庸言知旨』(1802序, 1819刊)	你呢
『正音撮要』(1810)	你俤
『洋漢合字彙』(1831)	你納
『正音咀華』(1836)	俤
『癸巳存稿』(1847)	你儂
『葦友臆説』(?)	你那
『品花宝鑑』(1849)	你能
『顯誤録』(1851)	您
『語言自邇集』(1867)	你納・您納・您
『英漢韻府』(1874)	你呀
『官話指南』(1882)	您
『漢語入門』(1899)	您
『老殘遊記』(1906)	俤那

これを見れば、“您”が成立するまでの過程として、[ni-na]の系統と[ni-neng]<sup>2)</sup>の系統があることがわかる。また、いわゆる北方の満漢課本類では[ni-na]であって、南方の「正音」課本類では[ni-neng]という大まかな見方も出来るであろう。

### 4. 『語言自邇集』の成書過程と“您”

少し本論とは離れるが、ここで“您”が登場する代表的な資料である Wade

の『語言自邇集』について概観しておく<sup>3)</sup>。

Wade (Thomas, Francis, Wade, 1818—1895) の『語言自邇集』は初版が1867年に、第2版は1886年、第3版は1903年に出版された。

いわゆる「北京官話」を中国(語)における「国語」としての明確な位置付け<sup>4)</sup>を行ったという面から中国語史の資料として、また近代日本における中国語教育への影響<sup>5)</sup>という面からも極めて重要なものである。

『語言自邇集』初版(全三卷)の構成は以下の通りである。

〈第一卷〉

- (I) Pronunciation (発音)
- (II) The Radicals (漢字の部首)
- (III) The Forty Exercises 散語四十章
- (IV) The Ten Dialogues 問答十章
- (V) The Eighteen Section 續散語十八章
- (VI) The Hundred Lessons 談論篇百章
- (VII) The Tone Exercises (聲調練習)
- (VIII) The Chapter on the Parts of Speech 言語例略(十三段+附編)

〈第二卷〉

第一卷の第三章から第八章の中国語について、英訳し注を施したもので、「Key」と呼ばれるもの。

〈第三卷〉

附録

なお、第2版では、第六章の「~~続~~散語十八章」が削除され新しく「踐約傳」(西廂記の話)が入れられた。また、第三章の「散語」も大幅な改訂が加えられているし、第四章の「問答」の十番目の問答の入れ替えが行われ、第八章の言語例略の附編(第十四段)も削除された。

ところで、これらの各章の言語は必ずしも均一ではない。それは、恐らくはその元になったテキストの違いというところにあるように思われる<sup>6)</sup>。

## “窓”に関わることがら（内田）

『語言自邇集』の成立に関しては、これまでに中国人教師「YING LUNG-T'ien 應龍田」の存在<sup>7)</sup>と、『清文指要』との関わりが取り上げられてきた。

たとえば、高田時雄1999は、『語言自邇集』の成立を中国語における「北京語の勝利」としてとらえ、かつ中国人教師「應龍田」の先行業績である『問答篇』の発見等々『語言自邇集』の成書過程を探る上で注目すべき論考であるが、以下のように述べている。

ウェイドは1847年に中国語教師として應龍田を雇い入れている。この人物がウェイドの中国語に決定的な影響を与えることになる…… (3p)

中国人教師、應龍田はウェイドのためにかなり多くの北京語教材を作ったと見られる。その多くは既成の材料を用いたものだが、時にはかなり自由に書き改めたりもしている。それらの言語教材をウェイドは一種の試行本のかたちで出版している。『尋津路』刊行の翌年、上海で出された『問答篇』『登瀛篇』の二種がそれである (6p)。

『登瀛篇』は、上述のように、現在見ることが出来ないのだが、その内容はどうも『自邇集』初版本の Part V に当たる「續散語十八章」であつたらしい。『自邇集』初版の序文に、この「續散語十八章」の成り立ちを説明して、「ここに含まれる文章はずっと以前に應龍田の書いたより大きな短文集の一部であつて、その中国語原文に私自身の手になるものを若干付け加えて1860年に出版したことがある<sup>8)</sup>」と言っているからである (6p の注13)。

「你納」という表記は、恐らくは應龍田の発明で、『自邇集』独特のものと思われるが、『自邇集』が流行するにつれて、これを採用する書物が他にも現れている。そのことで気になるのは『語言問答』という書物の存在である。小型の綫装一冊本で、52葉+35葉、刊年、刊行地とも一切不明である<sup>9)</sup>。その内容は、前半が書名と同じ『語言問答』、後半が「續散語十八章」となっている。この書の中には「你納」が頻見し、かつ後半の「續散語十八章」は『自邇集』初版の Part V. The Eighteen Section 續散語十八章と完全に



一致するのである。……おそらくこの書物は、注13で触れた「ずっと以前に應龍田の書いたより大きな短文集」なのだと考えられる。従って前半部の「語言問答」は遂に『自邇集』に含まれることのなかった、準備段階の数多くの資料の一つということになる(9p)。

この最後の引用箇所は“你納”に関わることでもあるが、私の見解と若干異なる部分があり、それについては後述するが、いずれにせよ、特に『語言自邇集』の「談論篇」と『續散語十八章』の成立過程は次のようになる。

『清話百條』(1750) → 『清文指要』(1809) → 『問答篇』(1860) →  
『語言自邇集談論篇百章』(1867)  
『語言問答』(?) → 『語言自邇集續散語十八章』(1867)

ただし、これまで『語言自邇集<sup>談</sup>續論篇』(それはまた『問答篇』でもあるが)の元本とされてきた『清文指要』との関係については些かの疑問が生ずる。

確かに、『語言自邇集』には『清文指要』という書名が見え隠れする。

現在の、都是甚麼書。

没有新樣兒的書，都是眼面前兒的零碎話和清話指要，這兩樣兒（談論篇五）

那清文指要，先生看見過没有。

仿佛是看見過，那是清漢合璧的幾卷話條子那部書，是不是。

是那部書。

那一部書，老些兒卻漢文裡有好些個不順當的。

先生說得是，因為這個，我早已請過先生，從新刪改了，斟酌了不止一次，都按著現時的說法兒改好的，改名叫談論篇。（問答十）

ところが、これも太田辰夫氏が以下のように述べられているように、問題が残る。

ただその順序は、『初学指南』および『三合語録』に近く、清文指要とは

“您”に関わることから（内田）

大いに相違していることはあやしむべき事である（太田1951, 22p）。

今、付表1として、『自邇集談論篇』と『清文指要』等の順序を掲げておくが、恐らくは應龍田あるいは Wade が元にしたのは『初學指南』（1794）あるいは『三合語録』（1829の序文）であったと思われる。つまり、『自邇集』で言う「清文指要」というのは、書名ではなくて、当時流布していた『清話百條』系統の諸本であったと考えた方が妥当である。それぞれの書物に「清語指要」（『清文指要』六、『初學指南』五）とか「百條清語」（『三合語録』五）というように書名が一致しないのはそのことを示しているように思われる。付表2には、『自邇集談論篇』における“你納”の出現個所を他の諸本と比較してあるが、それを見ても『自邇集談論篇』や『問答篇』が参照したのは『初學指南』の可能性が高いが、これについては別稿で論ずることにする。

さて、『自邇集』には二人称尊称に三つの形が登場する。

- (1) 你納 ni-na ……71例（談論篇と問答に見える。散語にはなし）
- (2) 您 nin ……22例（問答と散語にのみ）
- (3) 您納 nin-na ……3例（言語例略の附編のみ。）

このうち、“你納”はすでに、『尋津路』（1859）にも

你納這麼大年紀了，比我們年輕的人兒還硬朗（124）

但其你納這幾年在我們一塊兒盤桓熟了（327）（数字はページ数）

のように2例見えており、その注には次のようにある。

Obs. 1. ni-na, or ni-ne, you, is more respectful than ni alone (11p).

『語言自邇集』での“您”が「談論篇」には見えないことは注目してよいと思われる。つまり、『尋津路』や「談論篇」といったやや「古い」時代の北京語にはやはり、“您”はまだ確立していなかったということであり、その音も [ni-na] であった。以下の“您”についての英文の注もそれを暗示している。

〈付表1〉

自	問答	指	初・合	全	百	内 容
1	1	1	1	1	1	満州語の必要とその教授の依頼
2	2	4	2	43	42	満州語の会話について
3	3	2	3	39	37	満州語学習を励ます
4	4	9	4		51	学問と読書の必要
5	5	6	5	3	3	満州語の勉強
6	6	20	6		90	満州語の不勉強を戒しむ
7	7	3	7	41	39	考試をすすむ
8	8	35	8		61	通俗小説の排斥（通鑑の推奨）
9	9	37	9		41	従順でない怠惰情な若者
10	10	13	10	17	17	弓術について
11	11	25	11	45	46	新年の祝詞
12	12	22	12	12	12	章京就任を賀す
13	13	11	13	33	27	官吏の心得
14	14	28	14		55	尊敬すべき先輩
15	15	27	15		56	練達のお大官
16	16	31	16		52	孝行について
17	17	30	17		53	兄弟の不和
18	18	71	18		54	管園の交り
19	19	19	19		57	理想の人
20	20	7	20	11	11	積善の家に余慶あり
21	21	48	21		64	居留守を使った理由
22	22	24	22		84	旧友を訪う
23	23	8	23	49	50	読書の友を求む
24	24	46	24		66	奸悪を戒する人
25. 26	25. 26	66	25	47	48	諾否
27	27	54	26		83	腕自慢者かぶとを脱ぐ
28	28	82	26		76	儉約の戒め
29	29	65	28	32	26	儉約の必要
30	30	23	29	13	13	二人の来客
31	31	39	30		44	旅銀の借用
32	32	40	31		45	友田舎より来る
33	33	79	32	18	18	馬運び
34	34	62	33	25	24	貂皮の外套
35	35	67	34		96	変装した泥棒
36	36		35			奇怪な体験
37	37	57	36	9	9	化物屋敷
38	38	88	37	44	43	愛用の数珠
39	39	58	38	8	8	八卦見
40	40	75	39		93	窓辺の鳥
41	42	100	41		77	悪に走る愚者
42	43	84	42	30	99	賤しむべき奴僕
43	44	93	43		69	奴僕を戒しむ
44	45	60	44	34	29	奴僕の醜態をこらす
45	46	56	45	10	10	病氣と養生法
46	47	52	46	22	21	賭博の戒め
47	48	99	47		62	飲酒の害毒
48	49	87	48		82	微恙
49	50	92	49		72	酒で病む人を見舞う
50	51	83	50		75	病友の述懐
51	52	95	51		89	死生天に在り
52	53	98	52		65	悪徳の医者を知る
53	2-1	80	53		28	怒をなだむ
54	2-2	44	54		91	狡猾な野

“您”に関わることがら（内田）

自	問答	指	初・合	全	百	内 容
55	2-3	96	55		31	落着かない若者への苦言
56	2-4	59	56	48	49	変質者
57	2-5	36	57		58	虚飾を戒しむ
58	2-6	78	58	35	43	奸佞の人
59	2-7	91	59		73	煩悶する友
60	2-8	97	60		78	臆病者
61	2-9	15	61		30	仲違い
62	2-10	45	62	35	32	寛恕を乞う
63	2-11	85	63		79	他人をさげすむ男
64	2-12	94	64		67	人面獣心の人
65	2-13	42	65	27	95	恩知らず
66	2-14	81	66	38	36	苦言に一矢をむくゆ
67	2-15	14	67		34	思いのままを言う人を戒しむ
68	2-16	77	68	31	100	偽善を怪しむ
69	2-17	34	69		63	時期を失した贈物
70	2-18	74	70		87	大食漢の零落
71	2-19	16	71	4	4	久方強りの訪問
72	2-20	12	72	14	14	来客の接待
73	2-21	5	73	2	2	来客の接待
74	2-22	10	74	42	40	留守中の訪問
75	2-23	49	75	5	5	慕参
76	2-24	63	76	24	23	喪事
77	2-25	90	77		88	厚かましい男
78	2-26	32	78		70	貪慾を怪しむ
79	2-27		79			旗人への戒め
80	2-28	26	80		59	僧侶・道士の談法
81	2-29	76	81	45	47	不評判な仕事を諒す
82	2-30	38	82	40	38	事を依頼す
83	2-31	33	83		68	情が仇
84	2-32	17	84		92	相談のかけひき
85	2-33	68	85	7	7	結婚の申込
86	2-34	64	86	23	22	裁縫について
87	2-36	61	88		25	子供について
88	2-37	29	89	6	6	祭肉の擺応
89	2-38	51	90	25	94	狩猟の体験
90	2-39	73	91	19	71	春日の行楽
91	2-40	55	92		81	西山に遊ぶ
92	2-41	41	93	29	98	城外に遊ぶ
93	2-42	89	94	37	35	暑熱の日に思う
94	2-43	50	95	16	16	雨宿り
95	2-44	86	96		80	雨の夜の家屋倒壊
96	2-45	18	97	28	97	愁雨
97	2-46	43	98		85	雪景を賞す
98	2-47	53	99		86	大嵐
99	2-48	47	100		74	人非人
100	2-49	21	101		60	遊楽の満州人を戒しむ
	2-35	69	87	15	15	奇妙な夫婦
	2-50	70	102	20	19	暴行事件
	41	72	40	21	20	浮気の戒め

自＝『語言自選集』  
合＝『三合語録』

問答＝『問答篇』  
全＝『清文指要全冊』

指＝『清文指要』  
百＝『清話百條』

初＝『初學指南』

（内容は浦康一等1957による）

〈附表2〉

語言自述	語言寫	清文推展
我所求的，是你納疼我，就是勞乏些兒，可怎麼樣呢，抽空兒，給我編幾個好條子我念，兄弟若能教成了人，都是兄弟所賜的，我再不敢忘了恩哪，必要重報的。(1)	我所求的，是哥哥疼愛我，就是勞乏些兒，可怎麼樣呢，抽空兒，給我編幾個好條子，我念，兄弟若能教成了人，都是哥哥所賜的，我永遠不敢忘了恩哪，必定重報的。(1)	我求的是阿哥疼愛我就是乏些兒也罷，得空兒，求編幾條清條，教我念念，兄弟若能教成人，都是阿哥恩惠啊，斷不肯忘記，必然重報(1)
兄台，瞧瞧我的繡鞋，求你納略做一做。(7)	哥哥瞧瞧，我的繡鞋，求你納略做一做。(7)	求阿哥看了我的繡鞋，做一做(3)
兄台，你納看我射箭，比從前出息了沒有，若有不足的地方的，請指正。(10)	大哥，你納看我射箭，比前出息了沒有，若有不舒坦的去處兒，請指正。(10)	阿哥你看我射步箭，比先出息了沒有，要有不舒坦的去處，指正(13)
真的呀，在你納家，我選作客麼，不敢教說。(11)	真的呀，在哥哥家，我選作客麼，掛選的是強兒。(11)	實在阿哥的家裡我選教做嗎，不敢教說(25)
我替你納算計熟咯，一定要戴孔雀翎子咯。(12)	我替你納算計熟咯，一定要戴孔雀翎子咯。(12)	我替你打算熟了，預備帶孔雀翎子(22)
這是太壞了，你納是甚麼時候的人，年久咯，若論起來，和你納一塊兒行走的朋友，都作了大人咯，在你納使頭年輕的人兒們，也都壓了，若論你納的差使，出過兵，受過傷，現在又是十五善射，你納說，旗下強過你納的是誰，我知道了，想是怕我來喝喜酒啊。(12)	你納說的是那兒的話呢，你納是甚麼時候的人，年久咯，若論起來，和你納一塊兒行走的朋友們，都做大人咯，在你納後頭的，年輕的人兒們，都壓了，都比你納高貴了，若論你納的差使，出過兵，受過傷，現在又是十五善射，你納說，旗下強過你納的是誰，我知道了，想是怕我來喝喜酒。(12)	甚麼話呢，你是甚麼時候的人啊，年久了，論說，合你走的朋友都作大人了，再在你後頭挑的少年輕們，都比你強了先了，論行走，出過兵得過傷，而且現是十五善射，你說旗下過於你的是誰，我知道了想是恐怕來吃你的喜酒(22)
喝酒有甚麼呢，果然若得了，別說是酒，合著你納的意思，我請你納。(12)	別說是酒，我合著你納的惡意，請你納。(12)	別說酒，合著你的主意請罷(22)
你納是這樣說，我心裡卻不然，只論巴結不巴結，就是咯。(13)	你納是這麼說，我心裡卻不然，只論巴結不巴結就是咯。(13)	阿哥你不是這說嗎，我心裡卻不然，只論有作為沒有作為罷啊(11)
實在我是不知道，你納千萬別計較。(21)	實在不知道，要怎麼報兒纔好。(21)	不知要怎麼報的了(45)
你納出去之後，有個人來，說是你納陞了官，還喜事來了。(30)	大哥出去之後，有個人曉來了，說是大哥陞了，還喜事來了(29)	阿哥一出門，跟著有兩個人曉來著，說阿哥陞了，將來進喜(23)
我在門口兒站著來著，說你納沒在家，老哥們，請到裡頭坐罷，他們不肯進來，回去了。(30)	我在門口兒，站著來著，我說大哥沒在家，老哥們請到裡頭坐罷，他們不肯進來，回去了。(29)	我在門口站著來著，我說我哥哥不在家，說老哥們進去坐坐，斷不進來，回去了。(23)
一個是胖子，比你納略高些兒，四方臉兒。(30)	一個是胖子，比大哥略高些兒，四方臉兒。(29)	一個胖子，比阿哥略強些(23)
我問他們的姓來著，每人都留下了個職名，等我拿來給你納看。(30)	我問他們的姓來著，各人都留下了一個職名，我拿來，給大哥看。(30)	我問他們的姓來著，每人給我留了一個職名，我拿來給阿哥看(23)
求你納借給我點兒(31)	求借給我點兒(31)	阿哥跟前來了，或瓶子，或會頭，求幫我些(39)
兄台，你納瞧，這種棍兒的壞孩子可有麼(41)	大哥，你納瞧，甚麼棍兒的壞孩子，都有啊(42)	阿哥你看，受什麼罪呢(100)
你納若不信，請加如兒的打聽打聽，就知知道了。(46)	你納若不信，請加如兒的打聽，就知知道了。(47)	你要不信，可白知的打聽是呢(52)
這個人，你納沒在一塊兒長來往，還沒有深知(56)	二哥，你們沒在一塊兒久相與，還沒有深知呢。(2-4)	阿哥你們曾因甚未久交，知道的不透徹(39)
噯，老兄你納不記得麼(55)	噯，大哥，你納不知道行。(2-13)	阿哥你真有不知道的(42)
他自己說他有好書，你納發看，我送來。(58)	他有好書，你納發看，我送來。(2-16)	自己說有好書，阿哥要讀，我送去(77)
兄台，你納這不明固辭我的東西，不肯留下，我十分明白你的心意。(69)	大哥，你納只是這麼固辭的，我十分不明白，是甚麼緣故呢。(2-17)	阿哥你這樣固辭的光景，我不勝厭(34)
誰說是有我不少，沒我不少，替你納待待客也好好(69)	誰說是有我不少，沒我不少，替你納待待客，也好好。(2-17)	誰說是有我不少，沒我不少，替你納待待客也好好(34)
若論你納高貴貴友，送來的禮物還少麼(69)	就是高貴貴友們送來，送來的好東西，還少麼(2-17)	即如貴親送來的壞東西，小什麼呢(34)
老兄，您怎麼曉來，我等了這麼半天了，差一點兒沒有睡著了。(72)	大哥，你怎麼曉來，我只是等著你們，差一點兒，沒睡著了。(2-20)	阿哥你怎麼曉來，我只管等著你們，幾乎沒有打瞌(12)
你納往那兒去來著(73)	你納往那兒去來著。(2-21)	在那裡去來著(5)

“您”に関わることから (内田)

和學指南	三合語録	清文指掌全行
我所求者，阿哥尋覓，勢是空兒，可老麼樣，和空兒編幾個話條給我看，倘若能成人，皆是阿哥的恩惠何，我斷不敢忘恩，必定重報。(1)	我所求者，阿哥尋覓和空兒編幾個話條給我看，倘若能成人，皆是阿哥的恩惠何，斷不敢忘恩，我必當重報。(1)	我所求者，阿哥說便辛苦點兒也罷，隨和空兒編幾個話條子給我看，兄弟若得出長都是阿哥的好處，斷不忘恩，必然重報(1)
阿哥聽我的話，來略改一改(7)	阿哥這是我編的，來略改正改正(7)	阿哥聽我的改正改正(41)
阿哥你看我射箭，比先出息了沒有，若有不舒服的去處，相正相正(10)	阿哥你看我射，比先出息了沒有，若有不舒服的去處，相三相正(10)	你嘛聽我的長了點兒沒有，不順的地方兒來和教指教(17)
真個的，在阿哥家我選作客麼，歡歡是歡兒(11)	實在的，阿哥家裡我選些什麼，要是實在來啊，還要著個毛(11)	真了，你嘛這兒我選歡歡麼，歡歡是歡兒(45)
我替你算計熟了，一定要戴孔雀帽子了(12)	我替你熟計了，預留戴孔雀帽子麼(12)	我替你算就了，預留著戴花帽子吧(12)
說的是什麼話，你是甚麼時候的人，年久了，若論陳，同你走的親友們，都做了大人了，在你懷來的年輕的人們都做了，比你高貴了，若論行走，出過兵，得過傷，現今只是十五春射，你認錯下過於你的是誰，我知道了，想是怕我來吃喜酒(12)	什麼話呢，你是什麼時候的人，年久了，若論陳，合你走的親友們，如今都作大人了，再在你這頭後頭挑的少年們都做了，遇過你去了，論行走，出過兵，得過傷，而且現在是十五春射，你認錯下過於你的是誰，我知道，想是恐怕我來與喜酒，故此的這們說話(12)	說的那兒的話，你嘛是什麼時候的人，年久了，論陳合你老一塊兒當差的親友們都作了大人了，其次你之體挑的小夥兒們都起過你去了，論已結軍前得過傷，而且現在是十五春射，你嘛認錯下過於你的是誰，我知道編的，想來是怕喝喜酒，故此兒這們說(12)
別說是酒，我合著你的意思請你何(12)	豈有此理，若果然得了酒什麼稀罕，我合著你的意思請(12)	酒算什麼呢，你要怎麼喝就怎麼喝，不過是取笑兒，我是從來買喜的，反倒讓你看如何使得(12)
阿哥你不是這等說嗎，我心裡卻不然，只給吧結吧結罷(13)	阿哥你不是這樣說麼，我心裡卻不然，只給你吧結吧結罷(13)	你不是這們說麼，據我說不然，只在子已給不巴結(33)
實在不知要怎麼樣的了(21)	我心裡實在不知要怎麼樣，著實失望了(21)	
阿哥從家裡出去，有兩個人進來，說是阿哥陪了，連喜來了(29)	阿哥一出門，隨即有兩個人來喚來著，說阿哥陪了，特來道喜(29)	阿哥陪出門，隨即跟著兩個人進來，說你嘛高陪了，特來道喜(13)
我在門口站著來著，我說我的阿哥沒在家，老翁們請進去坐坐，斷不進來回去了(29)	我在門口站著來著，我說我阿哥不在家，老翁們進去坐坐，讓著斷不進來回去了(29)	我在門口兒站著來，說我哥哥不在家，請老翁們家坐坐，讓之再四顧定不進來回去了(13)
一個胖子，比阿哥略高些兒，口方臉(29)	一個胖子，比阿哥略強些(29)	一位胖胖兒的比你嘛略高些兒，伴身子兒(13)
我問他們的姓名來著，各給我留下了一個職名，我取來給阿哥看(29)	我問他們的姓來著，各人的給我留了一個職名，拿來給阿哥看(29)	我問他們的姓來著，每人留下了個職名，我拿來和你嘛(13)
阿哥跟前來了，成銀子，成當項，來幫我些(30)	阿哥跟前來了，成銀子，成當項，來幫我些(30)	
阿哥你嘛，甚麼銀子也有呢(41)	阿哥你嘛，甚麼銀子也有呢(41)	
你若不信，如何打聽是呢(46)	你若不信，如何的打問是呢(46)	要是你不信，如何的打聽(22)
阿哥你們沒在一處久相與，還未深知道(56)	阿哥你們沒在一處久相與，還未深知道(56)	阿哥你們沒常在一處兒還未深知道(48)
阿哥你不知道麼(66)	阿哥你不知道麼(66)	你豈有不知的(27)
他自己說他有好書，阿哥若要看，我送去(68)	他自己說他有好書，阿哥若要看，我送去(68)	他說他有好書，阿哥要嘛，給送來(31)
阿哥你只是這樣回翻的，我不辱雖然(69)	阿哥你只是這樣回翻的，我實在不辱雖然(69)	
雖說是有我不少，沒我不少，替你轉轉容也好(69)	雖說是有我不少，在我不少，替你轉轉容也好(69)	
即如實說成送來的鮮東西少什麼(69)	即如實說友送來的鮮東西少甚麼(69)	
阿哥你怎麼曉來，我只管等你們幾乎沒有打曉(72)	阿哥們怎麼曉來，我只管等你們幾乎沒有打曉(72)	眾位怎麼曉來，我等了個點兒乎曉著了(14)
往那裡去來著(73)	往那裡去來著(73)	往那兒去來著(2)

語言自選集	問答篇	清文摘要
兄台，你納在這左邊住麼。(73)	大哥，你納在這兒住著麼。(2-21)	阿哥你在這裡住著麼(9)
這是我家呀，你納請上坐。(73)	這是我家呀，你納請上坐。(2-21)	是我家裡，阿哥上去坐(9)
你納這麼坐了，叫我怎麼坐呢。(73)	你納這麼坐了，叫我怎麼坐呢。(2-21)	你這們坐下，我怎麼坐呢(9)
怎麼了，現成兒的東西，又不是為你納預備的，隨便兒，你就著吃點兒罷。(73)	怎麼咯，現成兒的，又不是為你納預備的，隨便兒，你就著吃點兒罷。(2-21)	怎麼了，現成的又不是為你預備的，啊，點去是呢(9)
我有一件事，要和你納商量(74)	我要和你納，商量一句話。(2-22)	我要和你商量一句話(10)
你納那兒家下人們說，坐了車出去了(74)	你納的家下人們說，坐了車，出去了。(2-22)	你家裡人們說你坐了車出去了(10)
我算計著，你納去的地方兒很少，不過是咱們園兒內的，這幾個朋友們罷咧(74)	我算計著，你納去的地方兒很少，不過是咱們園兒裡頭的，這幾個朋友們罷咧。(2-22)	估量著你走的地方甚少，不過咱們這幾個朋友家罷了(10)
我有一件事，要託哥兒，只是怪難開口的，甚麼緣故呢，實在求的事情太多了，但只是不求你納，除你納之外，再也沒有能成全我這件事的人，因此我又煩瑣你納來咯。(82)	我要託大哥一件事，只是怪難開口的，甚麼緣故呢，因為求的事情太多了，但只是不求你納，除你納之外，想求也沒有能成，成全我這件事情的人，因此我又煩瑣你納來咯。(2-30)	託阿哥件事，只是難開口，甚麼緣故呢，求的運數太多了，只是不求你，除你之外，想求沒有能成全我這回事的呀，因此煩瑣你來了(38)
是呀，你納怎麼知道了。(82)	是呀，大哥怎麼知道了。(2-30)	是，阿哥怎麼得知了(38)
兄台，我這件事，實實在在的仗著你納了。(83)	大哥，我這件事，實實在在的仗著你了。(2-31)	我親阿哥，我這一件事件，定仗著你了(33)
甚麼話呢，老兄台，，，你納是知道的。(83)	甚麼話呢，老大哥呀，，，你納是知道的。(2-31)	阿哥你是知道的(29)
兄台，可別怪我沒有求的，不是瞞著你納，只怕遇見和你納有不對勁兒的人呀，所以選找你納來。(90)	大哥，你納別怪，我沒有告訴你納說，不是瞞著，因為怕遇見，和你納有不對勁兒的人呀。(2-39)	並不是有心瞞你，這裡頭有與你不對當的人呀(73)

nin, more commonly pronounced ni-na, which, again, is short for ni lao jen-chia; politely, you my elder; you, Sir, or Madam (Key, 53p).

(第2版でも同じ, 126p)

しかしながら，一方で付表2（括弧の数字は章を示す）からわかるように，旗人語と言われる“阿哥”を“你納”に置き換えていることは“你納”はこの時代にはすでに「安定」して使われたことばであることも見て取ることができる。

ところで，この“你納”について，先に高田1999を引いたが，そこで高田氏はこの“你納”が應龍田の手になるものとされたが，これは些か問題がある。

実は尾崎實1990には，應龍田あるいはWadeより前に，ゴンサルベスに“你納”の使用例があることが報告されている。

尾崎氏の引かれたものは，ゴンサルベスの『洋漢合字彙』（1831）であったが，それ以前のゴンサルベスの著作には“你納”が数多く使用されている。

ゴンサルベス（J. A. Goncalves, 1780—1844）はポルトガル人で，ラザリス

“您”に関わることがら (内田)

初學指南	三合釋錄	清文指要全行
阿哥你在這裡住甚麼(73)	阿哥你在這裡住甚麼(73)	你在這兒住麼(2)
我家行，阿哥上去坐(73)	我家行，阿哥上去坐(73)	我家裡啊，阿哥請上坐(2)
你即們坐下了，我怎麼坐呢(73)	你即們坐，我怎麼坐(73)	你老即們坐了，我怎麼坐呢(2)
怎麼了，現成的，又不是為你預備的，吃點去是呢(73)	怎麼了，現成的呀，又不是給你預備的，吃點走(73)	現成的，又不是為你費事，喫點去不呢(2)
我要合你商量一句話(74)	我要合你商量一句話(74)	我要合你商量一件事(42)
你的家人們說你坐了車出去了(74)	你的家人們說你坐了車出去了(74)	你的家人們說你坐車出了門了(42)
算來你去的處甚少，不過咱們幾個朋友家罷咧(74)	算來你走的處甚少，不過咱們幾個朋友家罷咧(74)	算計著你去的處兒有數兒，不過咱們這幾家兒(42)
要托阿哥一件事，只是難開口，甚麼緣故呢，求的事情太多了，但只是不求你，除你之外，想來沒有能成我這事情的，因此又煩瑣你來了(82)	要托阿哥一件事，只是難開口，甚麼緣故呢，像這樣求的數太多，只是若不求你，除你之外，想來沒有能成我這事情的，因此没法又煩瑣阿哥來了(82)	要來阿哥一件事，就只難以啟齒，緣故怎麼說呢，像這樣預求的處兒太多了，但只鋪了你m，別人感不了我這事，没法兒又來勞煩你m來了(40)
是，阿哥怎麼得知了(82)	是，阿哥怎麼得知了(82)	是啊，你m怎麼得知了(40)
向我說阿哥，我這一件事，實實的仗著你了(83)	向我說，阿哥我這件事，實實的仗著你了(83)	
阿哥你是知道的(83)	阿哥你是知道的(83)	阿哥你m是知道的(40)
阿哥你別不好意思，沒給你通信的，是有心偏你，這種頭有與你不對的人們(91)	阿哥你別往不好意思，沒給你通信的，並不是故意要偏你，這種頭因為有你不對的人們(91)	沒給你通信者並非有意偏你，因這種頭有合你不對的人(19)

ト会の宣教師であるが、1814年にマカオに到着し、当地のセント・ジョセフ学院で教鞭を執るかたわら官話と広東語を研究した。その著作には以下のようなものがある（いずれもマカオでの出版）。

- (1) *Grammatica Latina* [辣丁字文] (1828)
- (2) *Arte China* [漢字文法] (1929)
- (3) *Diccionario Portuguez-China* [洋漢合字彙] (1831)
- (4) *Diccionario China-Portuguez* [漢洋合字彙] (1833)
- (5) *Vocabularium Latino-Sinicum* [辣丁中國話本] (1836)
- (6) *Lexicon manuale Latino-Sinicum* [辣丁中華合字典] (1839)
- (7) *Lexicon magnum Latino-Sinicum* (1841)

これらの著作のうち、最後のものは未見であるが、まず1の漢訳対照ラテン語文法書には以下のように“你納”が使われている。(数字はページ数を示す。以下も同じ)



要他們記著我叔叔好，給叔叔請安，因為狠想你納，特望看（96）

所以我想說你納太冒失（188）

我求你納不要把這個話當不好意思（188）

若你納給我治這個病，我就狠多謝你。（189）

若你納同我們去，我喜歡。（192）

送你納由不得我（192）

多謝你納（204）

你納貴姓（209）

你納多大歲數（210）

2の『漢字文法』はゴンサルベスの代表的著作であるが、これにも以下のよう  
に多くの“你納”の使用例が確認できる。

平地起風波我没有看見你納來理會（100）

你納來的巧（103）

你納貴處。（121）

還要煩你納給我細細的講各地方的生意（121）

托賴你納的情分我想看一看（121）

他是你納的好朋友（216）

你納幾歲（223）

你納乏了麼（225）

你納好，你納，納福（237）

好托你納的福，好托你納的恩（237）

你納身上也好（237）

我狠想你納（237）

是了，你納請（239）

請你納吃家常飯（246）

你納容易使快子（246）

你納也好（252）

“您”に関わることから（内田）

請你納上去給老爺磕頭（252）

應當回你納的禮（252）

托額你納的福（252）

你納貴姓（253）

你納貴國・你納是漢人是旗人（254）

請你納說要什麼書（254）

你納要賃這一所房麼（257）

請你納試一試（267）

注目すべきは、この『漢字文法』の第五章「問答」が実は、これも先に触れた『語言問答』の問答全四十六篇そのものなのである。

たぶん、應龍田や Wade がこのゴンサルベスを参考にしたことは、『尋津路』の以下の序文からも明かである。

The best is perhaps Goncalves's *Arte China*, but it is written in Portugues, a tongue few Englishmen under age have cared to cultivate.

尾崎氏はゴンサルベスが「北京語を採用」した理由について、同論文において次のように述べられていた。

ゴンサルベスは、欽天監で仕えるために、「ポルトガル伝道団から選ばれ、中国にやってきた。だから、マカオに着くとすぐに官話の勉強を始めた」(CALLERY)。結果として、この宿題は、最後まで達成されず、マカオで一生足踏みすることになったが、ポルトガルにとって、ゴンサルベスの北京行は、国威を一気に回復できる絶好のチャンスであったからである。

つまり、Wade が「北京語を採用した」背景には、このゴンサルベスの中国語観（それはつまり「北京官話の採用」ということであるが）があったと考えられるのである。

なお、ゴンサルベス以降、Wade 以前においては Edkins (Joseph. Edkins, 1823—1905) の『*A Grammar of the Chinese Colloquial Language*,

*commonly called the Mandarin Dialect*』(1857年初版, 1864年第2版)に“你納”の記述が見られる。

In Peking 你納 nin na is used respectfully for you. Premare says 你 jen is used. The dictionary gives nin, and this is corroborated by the pronunciation of native speakers (1857, 49p)

In Peking 你納 nin na [also written 你納 ni na] is used respectfully for you. Premare says 你 jen is used. The dictionary 五方元音 gives nin, and this is corroborated by the pronunciation of native speakers (1864, 158p).

初版では“你納”という表記になっているのに対し、第2版で“你納”が現れているのは興味深い。つまり、1857年当時は“你納”はまだ一般的な言葉ではなかったということが言えるのかも知れない。Edkins は特に第2版の改訂に際しては、Wade の『尋津路』を参考にしたとその序文で述べており、“你納”の出現はその現れであろう。また、以下の記述のように、各種官話間の相違にも着目しており、他の部分でも「官話」を分類したが、それは特に第2版で詳しくなっている。

Scholars who are native of Peking, distinguish the metropolitan dialect from the Kwan-hwa. Sounds used in reading, and words found in printed mandarin books, form the Kwan-hwa. Sounds not used in reading and words not found in books are referred to the local dialect. Of the personal pronouns, ngo, I ni, you, are Kwan-hwa, while wo and nin-na are Ching-hwa, (1864, 8p)

## 5. 『清文指要全冊』(?)における“你納”の表記

尾崎1992では、『清文指要全冊』という書物の中の「けったいな」“你納”の表記も報告されていた。「けったいな」というのは、「你」+満州文字による

“您”に関わることがら（内田）

na(ㄨ)という表記である。

この『清文指要全冊』は現在、天理大学図書館に所蔵されているが、刊行年は未詳の稿本で、五十章の途中まで残っており、その順序は付表1からもわかるように『清文指要』よりも『清話百條』により近い。

奇妙な表記は16個所登場する。『指要』と『自選集』との比較は付表3の通りだが、この『全冊』にはまた你老、阿哥も多用されている。ほかに特徴的と思われる語彙には以下のようなものがある。

這晦，那晦，這晦著，那晦著，咱的，不啞，止於，咧，麼，來，餛餛（煮餛餛）

〈付表3〉

清文指要全冊	清文指要	語言自選集
阿哥你？是知道的(6)	阿哥你是知道的(29)	你納是知道的(88)
你？是什麼時候的人(12)	你是甚麼時候的人啊(22)	你納是甚麼時候兒的人(12)
你？說旗人下過於你的是誰(12)	你說旗下過於你的是誰(22)	你納說，旗下強過於你納的是誰(12)
我是該來賀喜的，反到撞你？如何使得(12)	我該來賀喜，倒喫你的東西也使得嗎(22)	想是怕我來喝喜酒啊。喝酒有甚麼呢，果然若得了，別說是酒，合着你納的意思我請你納(12)
說你？高陞了(13)	說阿哥陞了(23)	說是你納陞了官(30)
一位胖胖兒的比你？略高些兒(13)	一個胖子比阿哥略猛些(23)	一個是胖子，比你納略高些兒(30)
我拿來你？瞧(13)	我拿來給阿哥看(23)	等我拿來給你納看(30)
你？說前不着村兒後不着店兒，可往那兒躲(16)	阿哥你說在漫荒地裡往那裡去躲(50)	兄台，你說在漫荒地裡，可往那兒去躲呢(94)
你？瞧我射的長了點兒沒有(17)	阿哥你看我射步箭比先出息了沒有(13)	兄台，你納着我射箭，比後前出息了沒有(10)
你？摸不着(35)	阿哥你不知道(45)	老弟，你不知道(62)
但只錯了？別人成不了我這事，沒法兒又來勞煩你？來了(40)	只是不求你，除你之外想來沒有能成全我這個寧的啊，因此煩瑣你來了(38)	但只是不求你納，除你納之外，再也沒有能成全我這件事的人，因此我又煩瑣你納來咯(82)
你？怎麼得知道了(40)	阿哥怎麼得知道了(38)	你納怎麼知道了(82)
做什麼，給你？叩新喜(45)	作什麼給阿哥拜年(25)	做甚麼，給兄台拜年哪(11)
你？這兒我還裝假麼(45)	實在阿哥的家裡我還裝假嗎(25)	在你納家，我還作客麼(11)
你？就喫吧(45)	阿哥就喫(25)	兄台請喫吧(11)
你老到家裡坐坐兒，？使得(49)	阿哥不進家裡坐坐嗎，是啊(8)	兄台不到家裏坐麼，是啊(23)

（？は滿州文字を示す）

これらの語彙については、たとえば太田辰夫氏は以下のようなことを指摘されている。

- ・ 列挙以外の例の用法は方言又は俗語であろう（太田1995, 39p）。
- ・ 北方語では你老が用いられるが北京語では用いない（同上, 249p）。
- ・ 餛飩は満州語ともいわれるが、正しくない。これは旗人語というべきであろう。また餃子のことを煮餛飩というのも旗人語である（太田1988, 311p）。
- ・ 不咱という助詞（吧の意味）は『児女英雄伝』に見え不則とも書くが、他の資料にはほとんどない（同上, 401p）。

こうしてみると、『全冊』は旗人語あるいは古い北方語によって書かれているように思われる。いずれにせよ、いわゆる完全な北京語ではない。

また、『全冊』はその配列が『清話百條』と異常に類似しているところから、『清文指要』よりも前に書かれたものとも考えられる。ただし実際にそれが書写されたのは時代がずっと下がるかも知れない。それは、“吧”の存在である。太田氏によれば“吧”という文字表記は清代には見られないという（太田1995, 176p など参照）。

“你納”の表記は先に挙げた“你呢”の例もあるように、ゴンサルベスがその漢字表記を採用するまではどうやら不安定であったことがわかる。また、その語は旗人においてもまだ見慣れた言葉ではなく、当時の「新語」に近いものであったことが、この『全冊』の表記は暗示している。あるいは、次の太田氏の言われるような「旗人語」の一種であった可能性も考えられる。

清代になると、旗人は満蒙漢をふくめ、北京の内城に居住することになった。以上のような理由から、旗人の間には特殊な方言が行われることになったらしい。基本的には漢民族の用いる北方語と大差はないが、若干の特殊語彙を有する。筆者はこれを旗人語とよぶ（太田1988, 309p）。

旗人の用いる特殊語彙のうち、漢語と推定されるものを旗人語とよぶこと

## “您”に関わることがら（内田）

にする。多くは称呼である。明代華北の方言が満州の地に保存され、あるいはその変化したものであろう（同上，311p）。

### 6. 小 結

さて、本題の“您”である。

たとえば、九江書會の『官話指南』（1893）での並列記載の中に以下のような対応が見られる。

您納  
貴姓（1—1）  
您

この場合、右が北京で左が南京というのは、Mateer の『官話類編』（1892年初版）と同様である。もちろん、他の箇所では“您”も使われてはいるが、しかし、少なくとも九江地方では您在北京の言葉という認識はないように思われる。

『官話類編』でも您は見えるのだが、たとえば次のようにある。

您納  
的少爺，不是在戸部有差使嗎？  
您

您納  
這麼坐了，叫我怎麼坐呢。（222p）  
您

この“您”について以下のような注記がある。

您 You, you folks. In Peking this word is used as a term of respect, —You, sir, or you, madam. It is also often read as if written 您納, the na being spoken very lightly. In Shangtung it always includes a plural idea, and expresses no special respect. It never takes 們 after it. In some places it is read nen2, in others nin2, and in others na3, and Southern Mandarin a nasal n. It is much more used in some

places than in others.

(您是北京では尊敬の言い方として用いられる。それはまたしばしば、あたかも您納と書かれるように読まれるが、この時の na は極めて軽く読まれる。山東ではこの語はいつも複数の意味を含み、尊敬は表さない。また、決して後ろに們を取ることはない。ある所ではそれは nen2 と読まれ、あるところでは nin2、あるいは na3、南方では鼻音の n と読まれる。それはある特定の場所でよく用いられる。)

你納 or 您納 You, sir, You [my senior]. This form is exclusively Pekingese, and is explained as a contraction for 你老人家.

(この形は専ら北京語であり、你老人家の短縮形と解釈される)

納 is sometimes added to 他 in the same way.

これらの記述はおそらくは『語言自邇集』のそれを承けたものであろうが、その音に nin 以外に ni-na, nen2, na3, n を示しているのは注目すべきである。ここでは nin の発生が示唆されているように思える。

清代の北京語は明代のそれと断絶があるとは太田先生の言である。つまり、清代の北京語はその周辺の言語よりも明代の古い形を残しているということである。その一つの現れが恐らく二人称尊称である。

まず、你停(你能・你儂)から考えてみる。

呉語に代表される南方方言では二人称尊称に [ŋ-neng(nong, ning)] の系統が存在した。これを漢字で表記する際に、ある場合は [ni-neng] となるが、この [ni] は恐らくは語頭の鼻音を示すだけで意味はなさなかった。だからこそ『二十年目睹之怪現狀』の注<sup>10)</sup>があるのである。日下1977では「你の方はいわば二人称マーカーともいえるものではないか」と述べているが、これは多分当たっている。私はこれは語頭の口蓋化された [ŋ] を代表しただけと考える。つまりは、[ŋ-neng] である。また、錢氏のいわれるように、ある場合には後

### “您”に関わることがら（内田）

ろの音だけを漢字で表記して，“儻”とだけ表わされることもある。発生的にはこのようであっても、漢字表記が定着することによって、音が離れることもある。[ni-neng] [ni-nong] さらに [ning（本来は neng であって、ning は恐らくは誤読）] の一人歩きである。「正音」類で「北の官話」として認識された“你儻”“你能”“你儂”“儻”はそういうものである。この最後の“儻”に対して、その後、明代以前に存在したの“您”という漢字が当てられたと考える。

次に“你納”であるが、一方では、二人称の複数形に [ŋ-na] が存在した。たとえば、游1988では呉語地区には [ŋ-na] の音をもつ二人称複数形が広く見られている。また錢氏のいうように呉語地区では [-na] によって複数を示す方法<sup>11)</sup>（一種の屈折）も指摘されていた。複数形が尊称に変わるとするのは世界の言語ではそれほど不思議な現象ではない。複数によって尊称を表す<sup>12)</sup>ことに太田氏は否定的であるが、それを証明する強い根拠は見当たらない。そして、これも漢字表記としては [ni+na] あるいは後ろの音節だけをとった [na]（Mateer の na<sup>3</sup> はそれを言っているように思われる）とならざるを得ない。ただし、それを表記する漢字はゴンサルベスに至るまでは定着しなかった。従って、『全冊』の書き手はそれを満州文字で表記せざるを得なかったのである。その後、[ni-na] の第二音節は [na]-[ne] さらには [n] となり、ここで [nin] が誕生する。そして、ここでも明代以前に使われていた“您”という漢字表記が当てられたというのが、私の「妄想」である。

つまりは，“您”は [ŋ-neng] 系統と [ŋ-na] 系統の二つが後に一緒になった奇妙な二人称尊称ということであり、後者は「北京語」というよりはむしろ「旗人語」ということであるかも知れない。

日下1977では“你納”と“您”の文中での機能にも着目していた。たとえば、『官話指南』あたりからは、すでに“你納”は「主格」にのみ用いられるようになり、他の機能は“您”が担うようになったと述べている。また、尾崎1992でもゴンサルベスの『洋漢合字集』の“你納”について、「ともに、入る場所は文頭か文末で、挨拶語であるのは興味深い」と述べている。ただし、日



下氏も述べているように、初期の“你納”にはそのような制限がないように見受けられる。さらには、上下関係や身分関係、職業などでもその使用法に制限があるようにも思われるが、これらはいずれも今後の課題としておきたい。

(2000. 8. 4)

<附記>

本稿は第1回近代東西言語文化接触研究会(1999. 11. 28, 関西大学)で口頭発表したものを修正加筆したものである。また、『語言自邇集』初版本は愛知大学の荒川清秀氏から、『問答篇』は京都大学の高田時雄氏から、『清文指要』等の満漢課本類は大阪外国語大学図書館のご好意により複写させて頂き利用できた。ここに記して感謝の意を表しておきたい。

<附記2>

本稿綱筆後、神戸外大の佐藤晴彦氏より、伊原大策1996の存在を教示された。伊原氏はその中で、清代初期の《醒世因縁伝》に大量の“您”が使用されていることに着目し、張恵英1991によって示された同じ作者(蒲松齡)によると考えられる《聊齋俚曲集》に見える“您”の敬称用法が《醒世因縁伝》にも認められるとした。そして、これらの用法が早期白話の“您”から現代語の“您”への中間的な姿を反映したものであり、それはつまり、“您”が当初から敬称として用いられる要素を内包していたということであるとされた。

《元曲》などの“您”と現代語の“您”の連続説に新たな資料を加えた極めて説得力のある説であり、筆者は今、これに対して検討を加えるべきいかなる材料も持ち合わせではないが、ただ、一点だけ述べておきたい。それは《醒世因縁伝》や《聊齋俚曲集》が「山東方言」地区で書かれた作品であるということに関わることである。

時代は下がるが、すでに本稿でも示したように、C. W. Mateer は『官話類編』の中で以下のように述べていた。

您 You, you folks, ... in Shantung it always includes a plural idea, and expresses no special respect. (222p)

この Mateer の記述をどう見るかである。「山東方言」の“您”は「複数であって、尊敬を含まない」と明確に言うのである。Mateer (のみならず当時の他の宣教師達も同様であるが)の言語感覚は恐らく現地ネイティブスピーカーの語感に裏付けされたそれであり、かなりの程度まで信頼に足る記述であって、当時の中国語の實際を反映したものと私は考えている。つまり、この“您”の記述も当時の山東の標準的な見方であると考えられる。これに対して伊原氏や張氏の主張される蒲松齡の作品群に見える“您”

## “您”に関わることから (内田)

の敬意用法というのは、一種の「解釈」「読み」のようにも思える。(もちろん、それは多くの例文からの確かな「読み」であろうが)しかし、やはり果たして「そう読むべきなのか」については更に検討が必要であるように思われる。

当時の宣教師を中心とした欧米人の言語資料に対して過度の信用は危険ではあるが、それでもそれらを全く無視することもまたできないのである。

### <参考文献>

- 浦 康一、伊東隆夫 1957「TANGŪ MEYEN (清話百象)の研究」『広島大学文学部紀要』第12号 史学特集別刷。
- 尾崎 實 1965「語言自邇集」解説『語言自邇集語彙索引(初稿)』明清文学言語研究会会報単刊9
- 1990「ゴンサルベスの『洋漢合字彙』(1831年) —ポルトガル人が学んだ中国語について」『東西学術研究所所報』第50号
- 1992「“您”にかかわるいろいろなことから」『近世語研究会』(1992.5.31)での発表レジュメ
- 日下恒夫 1977「北京語における“nin”の生成」『関西大学文学論集』第26巻第2号
- 太田辰夫 1951「清代北京語語法研究資料について」『神戸外大論叢』2巻1号
- 1988『中国語史通考』白帝社
- 1995『中国語文論集』汲古書院
- 内田慶市 1991『華語拼音妙法』の音系—「南京官音」の一資料『中文集刊』第3号
- 高田時雄 1999「トマス・ウェイドと北京語の勝利」『京都大学人文科学研究所創立70周年記念国際シンポジウム』(1999. 11. 19, 京大会館)における発表レジュメ
- 游 汝傑 1988「各地呉語人称代詞異同比較」『呉語研究国際学術会議』(1988. 12. 12. —12. 14, 香港中文大学)における発表レジュメ
- 六角恒広 1994『中国語書誌』不二出版
- 伊原大策 1996「明・清白話小説における“您”—《醒世因縁伝》とその周辺—」『言語文化論集』第43号。
- 張 恵英 1991「第二人称“賢”“仁”“您”“您”語源試談」『中国語文』第3期。

### <注>

- 1) Premare (666—1735?, 中国名を馬若瑟)はフランスのイエズス会宣教師であるが、1698年に来華し、江西省袁州府で二十五年間の宣教活動を行った。彼の中国語文法研究は後生の学者、たとえば M. Abel Remusat や Summers などの高い評価を受けているが、当時フルモン (Fourmont, 1683—1745) によってその内容を剽竊され、フルモンの妨害によってその書物(原稿)は長く陽の目を見ることがなかった。1831年に至って、ようやくモリソンにより出版され (*Notitia Linguae Sinicae*,

Malacca, 1831), その後、各国語版が数多く出版されたが、英語訳は Bridgman によって *The Notitia Linguae Sinicae of Premare, translated into English, Canton: Printed at the office of the Chinese Repository, 1847* として出版された。このように正式な出版は遅れたが、その書における言語は1700年代のものを反映したものと考えることが出来る。

該当箇所のラテン語版(1831, モリソンによる出版)では以下のようになっており、[gin]の音が与えられている。つまり、“人”“認”“忍”“任”と同音である。

tu 你 ni vel etiam 您 gin (42p)

- 2) 漢字表記としては“你儂”“你俦”“你能”となるが、たとえば、『正音撮要』では次のように言う。

你俦怎麼這樣說呢。我這程子。也有點事兒。總離不了家。俦泥耕 (23b)

また、『癸巳存稿』でも以下のようにある。

你儂衙門

京師語稱你儂，音若你能，直隸則通傳爲你老，你儂者，即古言爾，詩云，豈不爾思，畏子不敢，爾以親所愛，子以尊大夫，孟子言爾汝，賤之之詞，後人爾汝之歌，則又親之，詩天保，指君爲爾，則尊之也，你儂者，尊之親之，專言你，則賤之矣，

つまり、你儂も你俦、你能も同じ音ということになる。

- 3) 『語言自邇集』の成立及び先行の滿漢課本との詳細な語彙比較等は別に論考を準備している。
- 4) それまでの宣教師を中心とする欧米人の「官話」とは、「南京官話」を標準としていたのに対して、Wade は次のように述べている。

Pekinese is the dialect an official interpreter ought to learn. Since the establishment of foreign legations with their corps of students at Peking, it has become next to impossible that any other should take precedence. (Preface, vi)

北京語こそが公的な通訳官の学ぶべき方言である。北京に研修生を伴った外国公館が設置されて以降は、他の方言が優先されるということはほぼ不可能になった。(高田1999による日本語訳)

- 5) 日本人の手になる最初の北京官話テキストは広部精による『亞細亞言語集一支那官話部』(1879—1880)であるが、これは『語言自邇集』を元にしての。
- 6) 尾崎1965でも次のように言う。

「談論篇」は同じく「語言自邇集」の一部を構成しているにもかかわらず、他の

“您”に関わることがら (内田)

章と比べてみると、やや古いことばで著されていることがわかる。また、再版本にみえる編集上の変化とともに、ことばの面でも新しい要素が加わってきており、同時に、当時としてあまりに特殊なことば・用法が削除されていることもわかる。いずれも清代のことばであるが、単に「語言自選集」といっても、テキストの系統によってことばの出入りのあることは知らねばならない。(12p)

- 7) 中国人教師「應龍田」の存在については、かつて尾崎實氏も少し触れられたことがある。

つまり WADE は1851年、「清文指要」を買い求め、Ying Lung-t'ien 先生について再編し直したのである。(尾崎1965, 6p)

- 8) 原文は以下の通り。

The phrases contained in each of its eighteen pages are a portion of a larger collection written out years ago by YING LUNG-T' IEN. I printed the Chinese text of this with a few additions of my own in 1860. (Preface, x)

- 9) 筆者も1998年の暮れに、偶然、ベルギーのカソリック・ルーバン大学図書館の未整理の漢籍の中からこの本を発見し、複写を手元に置いてある。ただし、高田氏の保有されている複写物とは別の版本のようで、前半の53葉しかなく、後半部分は収められていない。なお、ルーバン大学のこの未整理の漢籍は、解放前に中国にあったベルギーのカソリック系の学校から引き上げたものであり、この『言語問答』はカソリック系の出版物であったことが窺い知れる。

- 10) 你停，京師土語，尊稱人也。發音時惟用一停字，你字之音，蓋藏而不露者。或曰：“你老人家”四字之轉音，理或然歟。

- 11) 『語言自選集』には三人称の尊称として [ta-na] がある。

他納這些年的病，誰照應家裡呢。(問答二，108p)

t'a no, like ni na; a respectful form. (Part IV—107p)

t'a na, like ni-na, a respectful form; pronounced t'an-na. (第2版，217p)

- 12) 実は『語言自選集』には俗に「初版改訂本」と呼ばれる版本が存在する。『清語階梯語言自選集』と言われるものがそれであるが、六角恒広1994によれば、この本は日本で翻刻されたもので、明治十三年(1880)に慶応義塾出版部から刊行されたものであるという。初版本とページ数等も全く同じであるが、各ページの欄外に改訂の字句が附されている。若干の誤字もあるが、初版本と一個所大きく異なる語がある。“您”であるが、「談論篇」の七十二の最初に次の文がある。

老兄，您怎麼纔來，我等了這麼半天了，差一點兒沒有睡著了。

この“您”は初版本も第2版でもいずれも“你”と作るところであって、「誤植」

の可能性もなくはないが、面白いのは、この文に対する『清文指要』や『初學指南』などの原文である。

阿哥們怎麼纔來，我只管等你們，幾乎沒有打睡。（清文指要）

阿哥們怎麼纔來，我只管等你們，幾乎沒有打盹。（初學指南）

阿哥們怎麼纔來，我只管等你們，幾乎沒有打盹。（三合語錄）

眾位怎麼纔來，我等了個鐘幾乎睡著了。（全冊）

大哥，你怎麼纔來，我只管等著你們，差一點兒沒睡著了。（問答篇）

つまり、この“您”は複数なのである。